

10. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
		運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小計	
336,747,019	5,815,202,000	5,602,897,909	219,497,876	0	5,822,395,785	329,553,234

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な用途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な用途の明細

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な用途	
		費用	主な用途
業務達成基準による振替額			
研究業務	1,035,723,496	1,035,723,496	人件費：757,067,605円、材料費：15,709,198円 経費：262,939,693円、その他：7,000円
臨床研究業務	2,067,402,713	1,943,329,129	人件費：1,123,747,595円、材料費：258,024,880円 経費：558,855,923円、その他：2,700,731円
診療業務	90,979,000	76,535,663	人件費：76,154,133円、経費：381,530円
教育研修業務	393,670,000	372,291,982	人件費：305,159,943円、材料費：443,756円 経費：66,687,071円、その他：1,212円
情報発信業務	130,335,668	121,564,795	人件費：62,045,606円、経費：59,515,325円、その他：3,864円
国際協力業務	592,171,699	592,171,699	人件費：575,923,042円、経費：16,244,793円、その他：3,864円
国立看護大学校業務	553,264,600	553,264,600	人件費：553,264,600円
その他	739,350,733	739,350,733	人件費：691,845,733円、経費：39,000,000円、その他：8,505,000円
期間進行基準による振替額	0	0	
費用進行基準による振替額	0	0	
会計基準第81第4項による振替額	0	0	
合計	5,602,897,909	5,434,232,097	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
研究業務	33,958,504	研究用器械備品：33,958,504円	0	
臨床研究業務	143,414,339	研究用器械備品：143,414,339円	0	
診療業務	0		0	
教育研修業務	0		0	
情報発信業務	1,207,332	業務用器械備品：1,207,332円	0	
国際協力業務	40,291,301	業務用器械備品：26,352,000円 研修センター建物空調設備更新工事：13,939,301円	0	
国立看護大学校業務	626,400	業務用器械備品：626,400円	0	
その他	0		0	
合計	219,497,876		0	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	329,553,234	<p>翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。</p> <p>臨床研究業務のうち、国際医療研究開発事業について、研究課題による未了のため、翌期に実施することとされたことから、翌期に134,152,996円収益化予定。</p> <p>臨床研究業務のうち、バイオリソース関連事業について、予定していたデータベースの開発が未了のため、翌期に実施することとされたことから、翌期に84,745,657円収益化予定。</p> <p>臨床研究業務のうち、ゲノム診断支援システム整備事業について、予定していたシステム導入作業が未了のため、翌期に実施することとされたことから、翌期に82,623,402円収益化予定。</p> <p>その他について、職員の退職状況が計画を下回ったため翌期に28,031,179円収益化予定。</p> <p>いずれも翌事業年度に使用する見込みである。</p>
期間進行基準を採用した業務に係る分	-	- 翌事業年度への繰越額はない
費用進行基準を採用した業務に係る分	-	- 翌事業年度への繰越額はない
計	329,553,234	